



令和2(2020)年

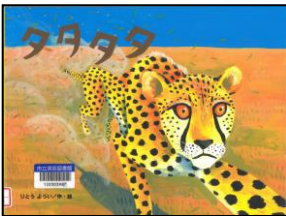
おすすめの本 ていがくねん

過去3年間の出版物を中心に
市立須坂図書館職員が選びました。



ほん よ
本を読むのは、ぼく。本を読むのは、わたし。だから、読む
ほん き
本を決めるのも「じぶん」でできるようになりたいね。読ん
でおもしろかった本を、お友だちやおうちのひとに紹介し
て、ほん わ
本の輪をひろげていきたいね。

タタタタ



りとうようい/作・絵 すずき出版

チーターがタタタタとかけぬけていきます。追いこされたガゼルもびっくり。チーターはいったいどこへいくの？ 読みはじめたら、いっきにさいごまでいってしまう、スピード感あふれる絵本です。

E ス/リ

すざかとしょかん



るすばんかいぎ

浜田桂子/作 理論社

かぞくがでかけて、だれもいなくなると、会議がはじまるよ。ゆうきくんがうまれてから、ず〜っとみまもってきた、つくえや、いすや、れいぞうこがあつまって、じゅんばんに、こまっていることをはなすんだ。

Eリ/ハマ



はるとあき

斉藤倫・うきまる/作 吉田尚令/絵 小学館

きせつが春のときは、夏、秋、冬はねむっています。きせつがこうたいするときだけ、つぎの季節とあえるのです。まだ秋にあったことがないと気づいた春は、「秋にわたして」と、夏に手紙をあずけることにしました。

Eシ/ヨシ



ふゆのはなさいた

安東きみえ/文 吉田尚令/絵 アリス館

こねずみがないしていると、「なくのはやめてよ」池のなかから金魚が顔をだしました。ふたりは、いつしか友だちになっていました。ところが、つぎのあさ、雪がふって、池がこおってしまったのです。金魚は……。

757オ

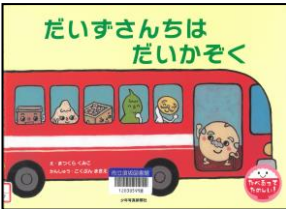


チトくんにぎやかないちば

アティヌーケ/文 ブルクスバンク/絵 さくまゆみこ/訳 徳間書店

おかあさんといちばへやってきたチト。いちばのひとたちは、チトに、バナナやオレンジをくれました。チトはひとつ食べると、のこりをおかあさんの頭の上のかごに、ぽいっ。でも、おかあさんは気がつきません。

Eト/ブル



だいずさんちはだいかぞく

まつくらくみこ/絵 国文牧衛/監修 少年写真新聞社

だいずのおじいさんの家に、バスがやってきました。だいずいちぞくの大集合です。とうふやみそのげんりょうとして、日本人が、むかしからなれしたしんできただいず。さあ、どんなふうにするがたをかえるのかな？

Eシ/マツ



かいちゅうでんとう

みやこしあきこ/作 福音館書店

かいちゅうでんとうがあれば、くらやみだってへっつやら！ 子どもだけでもあつかえるみぢかな道具・かいちゅうでんとうの、光を楽しむためのヒントがつまった絵本。こんや、さっそく、ためしてみよう。

Eフ/ミヤ



アラン・グレのABCえほん

アラン・グレ/作 木原悦子/訳 あすなろ書房

カラフルでたのしいイラストでまなべる、英語の絵本。「アルファベット」、「いろ」、「しぜん」、「のりもの」の4さつに、たくさんの英語のことばと読みかたがのっています。イラストを見るだけでも発見があります。

外国語のえほん



はこちゃんのおひなさま

丸田かね子/作 牧野鈴子/絵 銀の鈴社

戦争をのがれて、はこちゃんは、かぞくとわかれ遠くのしんせきのもとでくらしていました。そこへ、だいすきなおひなさまをとどけてくれたのは……平和のたいせつさをつたえてくれるものがたり。

戦争/Eキ/マキ



わたしのそばできいていて

リサ・パップ/作 菊田まりこ/訳 WAVE出版

マディは字を読むことが苦手。国語の時間に音読をあてられてもうまく読めません。つかえるたびに、クラスの子がくすくす笑う声が聞こえて、逃げだしたくなるのです。そんなとき図書館で1匹の犬と出会って……。

Eウ/ハツ